

み
ま
た



は
ら
ち
は
ま
は
な
ま
な
ま

三股の春がいっぱい



子供達といっしょで馬もうれしそう(早馬まつり)

よい人、よい町、よい政治、議員が編集した手づくり広報紙

主な内容

3月定例会 (3月3日~3月19日)

議会新体制出発

第1回臨時会 (2月24日)

町政を問う 一般質問(7名)

シリーズ 保育園を訪ねて vol.13 英保育園



先生も1年生です。よろしく(長田小学校入学式)



心があられるような鮮やかさです(上松園)



花のジュータンは今年も健在(推八重公園)



306名が入学しました

平成21年度一般会計当初予算

72億4千万円を可決

3月定例会は3月3日から3月19日までの17日間の会期で開かれました。

本定例会では、町長から新年度に向けての施政方針が述べられるとともに、平成21年度一般会計予算を始め11の会計の当初予算が提案されました。また平成20年度一般会計・特別会計の補正予算や、条例の一部改正など36議案が審議され、1議案を除き、原案通り可決しました。以下その概要についてお知らせします。

平成21年度一般会計の主な内容

歳入歳出予算総額は72億4千万円で、対前年度比8・7%6億9

千万円の減額となっています。

減額の主な理由は中学校整備事業が20年度で完了したことや、平成21年第1回臨時議会（2月24日）で可決した20年度の補正予算が緊急の経済対策として21年度当初予算に組み入れる予定の事業を前倒しで補正し、21年度の繰越事業としたことが大きな要因となっています。

歳入は町税が17億7千万円で歳入全体の24・4%を占めています。また、地方交付税が24億9200万円で歳入の34・4%、国・県支出金においては12億8千万円で17・7%となっています。

歳出の主な投資的事業は下記のとおりです。

① コミュニティバス施設整備事業 3303万円

② 三股駅前多目的広場整備事業 3602万円

③ 食器洗浄機購入事業 3150万円

④ 島津紅茶園切寄線改良事業 3000万円

⑤ 橋梁耐震補強対策事業（梶山大橋） 3130万円

⑥ 長田小学校屋根防水事業 1452万円

⑦ 畑地帯総合整備事業（宮ノ原第一地区） 1249万円

⑧ 県単かんがい排水事業 1043万円

⑨ 塚原第2団地建替事業（基本設計・地質調査） 910万円



総括質疑Q&A

Q 上西議員

西植木多世代交流施設整備事業が1087万4千円減額になっている。これは21年度の予算には含まれていないが、なぜ減額になっているのか。

A 福祉課長

西植木コミュニティセンターを増築して児童館として活用するため予算化していたが、自治公民館から、西植木コミュニティセンターと児童館は別に考えてほしいとの申し入れがあったため、植木地区内に新たな建設の場所を確保する事も含め、22年度の予算化に向けて21年度の10月ごろまでに全体的な見直しを行なう予定である。

Q 指宿議員

三股町心身障害者福祉手当の支給については、障害等級の1級から4級及び療育手帳が「A」であるものに年間1万円、5級6級及

Q 山中議員

町立病院については、4月1日から経営形態がどうなるのか。また、21年度予算として人件費が1人分、9百3万5千円組んであ

A 福祉課長

生活保護の方が平成19年度調査で9名である。課税世帯は20年の調査で40名。手当の支給者については1万円が42名で42万円、8千円が18名で、14万4千円となっている。

Q 町民保健課長

職員については20年度の決算の事務を行なう。また企業債返還金についてはこの支払いで完済である。売却代金については、3月31日に入ってくる予定である。

Q 町民保健課長

この職員が、町立病院が廃止されるにあたり、どのような業務を行なうのか何う。また、企業債償還金が2655万7千円組んであるが、企業債はこれで全額返還となるのか。町立病院の売却代金の支払いはどうなっているか。

A 町民保健課長

今回の補正予算については、おもに予算の執行残を減額する第6号補正予算と、平成20年度国の一般会計第2次補正予算の関連法案の成立に伴う第7号補正予算の2つの補正予算となっている。ここでは第7号補正予算

補正予算について

定額給付金事業

3億9035万円
給付対象者1人につき12000円。基準日において65歳以上もしくは18歳以下の者については、20000円が支給されます。

の歳出予算についてお知らせします。

子育て応援特別手当事業

1800万円
生年月日が平成14年4月2日から平成17年4月1日までの子供で、第2子以降の子供に平成20年度限りの措置として、1人当たり3万6千円が支給されます。

プレミアム商品券発行事業補助金

1000万円
定額給付金を町内で使ってもらおうと、商工会が10%のプレミアム付商品券を販売しますが、その補助金として商工会へ補助されるものです。

平成21年度一般・特別・企業会計の当初予算 (千円以下切り捨て)

会計名	21年度予算額	20年度予算額	増減額	
一般会計	72億4000万円	79億3000万円	△6億9000万円	
特別会計	国民健康保険会計	26億2213万円	29億2809万円	△3億596万円
	老人保健会計	2901万円	2億4530万円	△2億1629万円
	後期高齢者保険会計	1億9067万円	2億727万円	△1660万円
	介護保険会計	16億7774万円	16億68万円	7706万円
	介護保険サービス会計	1369万円	1395万円	△26万円
	梶山地区農集会計	4007万円	4874万円	△867万円
	宮村南部農集会計	3678万円	3702万円	△24万円
	公共下水道会計	4億173万円	3億8862万円	1311万円
	墓地公園会計	1833万円	2973万円	△1140万円
	特別会計合計	50億3015万円	54億9940万円	△4億6925万円
企業会計	病院事業会計	1098万円	1763万円	△665万円
	水道事業会計	3億9904万円	4億171万円	△267万円
	企業会計合計	4億1002万円	4億1934万円	△932万円
全会計合計	126億8017万円	138億4874万円	△11億6857万円	

*数値は切捨てしてあるので、予算書の額と同じにはなりません。

新体制、出発

新議長・副議長を選出

臨時会が、5月1日に開催され、議長、副議長及び監査委員の選挙が行われました。また、各常任委員会委員も新たに決定しました。



議長 東村和往

このたび、議会の決定により議長の重責を担うこととなりました。今、地方議会の現状を見ますと、住民の議会に対する目は大変厳しいものがあり、そのため議会側でも、北海道の栗山町議会の改革例を皮切りに全国各地で現状打破の動きが進みつつあります。本町議会としても、町民の皆様方の負託にこたえるべく、一層の努力が求められます。私は、従来より主張してきました「議会基本条例」の制定を柱に、住民の目線で改革の先頭に立つて頑張つて参ります。皆様方の更なるご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



副議長 重久邦仁

議会運営委員会

議会運営に関すること、議会の諸規則に関すること、議長との諮問に関する事項について審議または協議します。

- 委員長 大久保 義直
- 副委員長 中石 高男
- 委員 山中 則夫
- 委員 指上 西祐子
- 委員 指宿 秋廣

委員会とは？

本会議の予備的審査機関として、専門的立場から詳細かつ能率的な審査を行い、各種の意見を調整しその経過と結果を本会議に報告することにより、他の議員の表決の参考とするための役割を果たします。

総務厚生常任委員会



委員長 上西祐子



副委員長 原田重治

総務企画課、税務財政課、福祉課、町民保健課、会計課、議事事務局及び選挙管理委員会に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



委員 黒木孝光



委員 山中則夫



委員 大久保 義直

議 会

建設文教常任委員会

都市整備課、産業振興課、環境水道課、教育委員会及び農業委員会の所管に関する事項を審査します。

(議会選出監査委員)



委員長
指 宿 秋 廣



副委員長
池 田 克 子



委員
山 領 征 男



委員
中 石 高 男



委員
重 久 邦 仁



委員
財 部 一 男

一般会計予算・決算常任委員会

一般会計の予算及び決算に関する事項を審査します。

委員長 山中則夫
副委員長 山領征男
委員 黒木孝光
委員 中石高男

委員 原田重治
委員 池田克子
委員 重久邦仁
委員 大久保義直

委員 上西祐子
委員 財部一男
委員 指宿秋廣

広報編集常任委員会

議会広報紙の編集及び発行に関する事項を担います。

委員長 原田重治
副委員長 山中則夫

委員 池田克子
委員 財部一男

第1回臨時会 補正予算額 4億8594万円

勝岡小学校体育館建設に3億9千万円

平成21年第1回臨時会は2月24日に開催されました。急激な金融経済情勢の変化に対応するため、通常国会において平成20年度2次補正として緊急の経済対策が措置され、4億8594万円の補正予算案が上程されました。議案は一般会計予算決算常任委員会へ付託され賛成多数で可決しました。尚、各事業費については20年度で受入れを行い21年度へ繰り越されて事業が実施されま

歳入について

定額給付金給付事務費補助金 1385万円
 地域活性化・緊急安心実現 総合対策交付金 1198万円
 地域活性化・生活対策臨時交付金 1億2194万円
 子育て応援特別手当事務費補助金 110万円
 公立学校施設整備費補助金 3490万円
 安全・安心な学校づくり交付金 3205万円

歳出について



子育て応援特別手当事業

多子世帯の幼児教育の負担に配慮して支給される手当で、今回の補正はその支給作業にかかる事務費分となっています。

予算(事務費) 110万円



定額給付金事業

今回の補正は定額給付金事業を行なうための事務費相当分となっています。定額給付金の予算については3月議会に補正予算として上程されました。

予算(事務費) 1385万円



勝岡小学校体育館建設事業

昭和43年に建築され、老朽化した体育館を建替えるものです。床面積を現在の529㎡から913㎡へ拡張します。

予算 3億9123万円



庁舎震災対策事業

役場旧館2階の窓枠を老朽化のため耐震強度上改修するもの。

三股駅舎機械警備委託

改修により新しくなった駅舎を防犯対策として警備するもの。

予算 1078万円



小学校耐震診断委託事業

宮村小学校、梶山小学校、三股小学校の3校について校舎の耐震診断を行うもの。

予算 1772万円



町道改良事業

中米12号線測量設計業務委託事業、植木21号線、梶山轟木1号線、大原地区の4本の道路を測量設計および道路改良を行うこととなっています。

予算 5267万円

7人の議員が
質問しました。
内容を要約し
てお知らせし
ます。

失業者に対する救済策は



上西 祐子 議員

問

景気悪化で「派遣労働者」及び期間工等の大量首切りが各地で行われ、職と住居を同時に失う労働者が急増し、雇用対策は今や国民的な課題となっている。

本町では町内企業の経営状況の実態を調査したり、又、町税から雇用奨励金などを受けている誘致企業に対して労働者を解雇させない様、話し合いをされたのか伺う。

町長

昨年12月と今年1月に特に影響を受けている自動車関連やI Cの誘致企業を訪問し、実状の把握に努めた。又、2月には町長、副町長、担当課長で企業訪問し、経営責任者から会社の状況、今後の見通し、従業員の取り扱いについて話を聞いた。

問

国から雇用創出事業費が交付されているが、その内容と、町独自の雇用対策事業は創出されないのか伺う。

町長

雇用では21年度約962万

円予算計上している。この事業は6ヶ月間の予定でこの間に安定的な求職活動ができる様支援する。21年度から3ヶ年で20人を雇用する計画である。

又、都城市と本町で「都城地域雇用創造推進協議会」を設置して3ヶ年で総事業費2億7千万円で雇用拡大、人材育成、就職促進事業等を実施して都城地域で250人の雇用拡大を図る計画を展開する。

問

大不況から生活を守る「相談窓口」の設置は考えていないか。

町長

住民の相談は総務企画課行政係で対応しているので特別の相談窓口は考えていない。

入札制度改革後の 実状と改善点は

問

本町は入札制度改革に対する

提言を受けて1年、一部分一般競争入札を実施されたが、この間の入札結果は前期と後期では落札率、参加業者数に変化が見られるがどう認識されているか。改善点はないのか。

副町長

20年度前期と後期では、落札率、参加業者数も変化している。落札率も95%前後と高止りの傾向である。以前は最低制限すれすれの落札もあつたが最近はそれもない。

それで、建設業協会役員を呼んで提言書にあるとおり見直しもあり得ること。入札参加者をふやす努力や地元を優先で条件付一般競争をやっているの、競争が働かないと町として撤退をふくめて検討することを伝えた。今後も推移をみながら入札改革にとりくんでいきたい。

問

地元育成の観点から建設工事



誘致企業 株式会社 中村食肉 榊山工場

町長 21年度から3ヶ年で20人を雇用する計画

町民の苦しみや痛みのある町政を 人情味のある町政を



山中 則夫 議員

問 町長は常に「町政は町民のため、町民中心のもの」と言っているが、実際は国と同様、役人型町政が行われていないか。21年度の予算を昨年と比較して、町民サービスの公共事業は約7億減らされ、一方町税収入に近い約15億のお金が人件費に使われる。これでは町民の苦しみや痛みが、伝わっているか、大いに疑問だ。

町長 広く町民の声を聞き、町の施策や事業に反映させていく。住民と町民が同じ目的の為に協力して働いていきたい。町民の視点に立った町政運営をしていきたい。

問 役場は町民に対しての総合サービス業だと思うが、何故、役場は昼の時間に窓口業務を休むのか。平成12年から、町民の利便性を考えるべきだと要求しているが、

町長 昼の窓口業務が必要なのか、

実態調査をしていく。

問 公共事業は地域を良くするために必要であり、予算計上が、何故、去年の半分以下の大幅削減になったのか。

町長 事業等、年次的に計画している、中原団地・中学校の改修が、終了したので、削減になった。

問 町内業者等の苦しみかわかるなら、この時期こそ、町長が政治判断で財政出動をするべきではないか。

町長 町の総合計画に従って、事業を進めていきたい。

**河川プールの再開を
要望したい**

問 河川プールは開設以来、町民に喜ばれていた。今は使用されていないが、町民に対するささやかなサービスを提供するためにも河川プー

ルを再開してはどうか。

教育課長 町民の要望もあり、改修等を含めて、対応を検討したい。

問 三股駅前の事業に対して今後どう取り組むのか。

町長 本年度は多目的広場等整備、平成22年度から、駅周辺の道路整備に取り組みたい。

**町も物産館に
もっと協力をすべき**

問 物産館は最初の立地場所が、商工会側の意向と違って、駅前になった経緯があり、将来、負の財産にならない様、町としても協力するべきではないか。

副町長 物産館の運営に直接の支援はしないが、駅前の活性化の視点から、周辺の環境整備・イベント等には協力していきたい。

問 コミュニティバスの運行は、現在のままでいいのか。

町長 今年10月からバスの発着所を駅に移し、町民の足の確保という面からも、改善して、充実させたい。

問 バスの運行を高崎町は民間委託して、非常に町民に喜ばれているが、

町長 現在は、考えていないが、今後の状況を見て考えていきたい。



河川プールの再開はいつになるのか

町長 町民の視点に立った町政をしたい

勝岡城跡地に

資料館建設は？



財部 一男 議員

指定管理者指定について

問 本町は自主自立の道を選択して、すでに五年が経過している。私が質問する指定管理者の指定についても行政改革の一環であると思う。本町においては四つの施設が指定管理者として指定されている。町立病院の指定は最初は、医師会病院が指定を受けたが一年で返上し、新たに小牧病院を指定したが、これも返上と言う事になり、結果的に戸嶋病院へ売却となった所である。そこで何う。指定した団体の経営内容等については、公表すべきと思うが、どう対処されるのか。

町長 公の施設を管理している指定管理者については、広く住民に公開されるべきだと考えている。「三股町情報公開条例」では「指定管理者の情報公開」に關しての条項がなく、又指定管理者と締結した協定書には、公表に關する規定がないため、早急に検討し、条例改正や協定

書の変更など所要の措置を講じた

問 自主自立の町づくりにおいては、指定管理者制度は有効な手段であると思われる。本町の文化ホール、図書館も指定管理すべきと思うが、又この制度を拡大する考えは。

町長 現在四つの施設を指定管理している。今後も行財政改革の一つの手段としてこの制度の導入を検討したい。又その他の施設についても検討委員会等で協議検討をしていきたい。

勝岡城跡地対策について

問 本丸城周辺の整備が「県営里山再生事業」において施行されておりますが町はこれに対し今後どう対処されるのか。

町長 今回竹が伐採された箇所に、

本丸の防御機能を有した遺構もある。遺構を保存する上でも好都合である。植栽のために竹の撤去が必要ということであれば協力して行きたい。

問 本丸城跡地は現在荒れ放題となっている。町においては買取が進められ今までに九割方買取が済んでいるとの事であるが、跡地活用はどうすればいいのか、歴史もあり由緒ある勝岡城跡地であるので、町の歴史資料館等を建設すべきと考えるがどうか。

町長 実は、昨日の郷土史研究会の表彰祝賀会の席上において、文化協会の会長から歴史資料館を設置すべきとの話が出た所である。前にも議会において、質問がでているが実現していない。資料館建設については、検討したい。



勝岡城跡入口

町長 歴史資料館については検討する

表彰制度の拡充を

すべきでは？



指宿秋廣 議員

問

現在の表彰規定は、毎年文化の日に表彰される、功労賞、行政特別功労賞及び善行賞の3種類であるが、表彰基準が高く限られた人になってしまふ。また、各協会等の表彰はその会に所属していることが前提となる。そこで、現在の制度以外で表彰や感謝状などの制度を創設してはどうか。

町長

三股町表彰条例に基づく表彰は、町政の振興、町民の福祉の増進、産業の振興などに功労のあつた方や町民の規範と認められる方で、大変重みのある意義深い表彰であります。この条例の基準に満たない方や一般の町民の方には縁遠いものと考えられる。

そこで、幅広い人材の活用や地域づくりの活性化を図っていく上で、この条例による表彰とは別に幅広い町民の表彰もしくは感謝状などを検討したい。

教育長

教育委員会では、平成7年

に感謝状贈呈に関する要綱を定めているが、積極的に対応していない。今後表彰基準の枠の拡大を含め検討する。

喫煙スペースの設置を

問 小中学校の敷地内禁煙を分煙にできないか。

学校の敷地内禁煙で、先生や親などが校門で喫煙している。その風景は大変見苦しく教育にも悪く影響していると考えられる。学校敷地内の一角にプレハブ等で喫煙スペースを設けるべきではないか。

教育長

好ましい教育環境作りのため、各学校の敷地内全面禁煙を実施している。分煙については考えていない。

雇い止めの実態と対策は

問 サブプライムローンの破綻によるアメリカの株安が、世界同時不況となって日本に押し寄せてきた。好景気の際は実感が無かった本町も景気が悪化すると真っ先に影響をうける。そこで、本町の派遣社員等の雇い止めの実態とその対策はどのようにするのか。

町長

町内誘致企業の3社の内2社で派遣社員やパート社員が1年間で79名が離職されている。対策については、一般会計での緊急雇用創出事業や都市と地域雇用創出事業により雇用の拡大に努めていきたい。

町長 幅広く町民の表彰を検討したい



福祉大会表彰式



投票所の復活について



重久邦仁 議員

問 削減された地域から復活の要望がある、町長としての考え方を問う。

町長 投票所の再編成については、選挙管理委員会の所管でありますが、大きな状況の変化やそれぞれの地区住民の総意としての要望があれば、それに従って誠意をもって協議していく。選挙管理委員会は、これを検討していくべきではないかと考えています。

問 選挙管理委員会の認識について選挙委員長、選挙管理委員会は、国や地方公共団体の選挙に関する事務を管理するため、地方公共団体に設置される合議制の執行機関である。また、選挙が民主的、かつ公正に行われるようにするために、町長から独立した機関として設置された公正な立場の機関であると認識している。

投票所が15力所から11力所に減った投票率の影響はどうか。

選挙管理委員長 投票所削減に伴う投票率の低下については、今のところ確認されていない。ただ、今後は投票日におけるクイマールバスの臨時運行及び、投票のため有権者が利用する運賃の補助をして、より有権者に心に訴えていく啓発活動また投票所削減地区において、座談会等を開催し、地区住民の意見を聞くなど、投票率向上に向けた対策を検討していきたい。

文化会館について

問 当初予算、自主文化事業の取組みについて伺う。

教育長 平成21年度の当初予算は、3ヶ年計画に基づき1千2百万円、また、また、自主文化事業は、三股町文化会館運営委員会の意見を伺い、審議の後、事業決定をさせていた

義務教育について

くというプロセスですすめております。

問 家庭負担のあり方の認識を伺う。

教育長 義務教育については、憲法26条に義務教育はこれを無償とする、という事が大きな柱である。国・県・町・地方公共団体が割り振りをしながら予算執行をしている。

問 中学校部活動補助金について、当初予算と20年度執行状況を伺う。

教育課長 20年度は、388万8千円の予算に対し、執行したのが202万5千円。これについては予選を勝ち抜き、県大会・九州大会・全国大会に出場した部活動支援費であります。

21年度は、4百万円を予算計上して取組んでいます。



きびしい部活動の練習に頑張っています

町長 地区住民の要望に沿って検討したい

若者よ目指せ

農業王国を



池田 克子 議員

問 地球環境の汚染から国際的な食料危機が叫ばれている。日本の食料自給率も40%に低下した。国会で食料自給率向上の取り組みをする。水田等の有効活用や耕作放棄地等の再生利用である。40年前607万haあった農地が474万haに減少した。なかでも耕作放棄地は20年で38万haを越した。当町の耕作放棄地の現状と課題は。

町長 平成20年度の調査結果は62筆で8.8haであった。一度荒廃した土地は、その復元が困難である。
「三股町優良農地創出プロジェクトチーム」を設置し、解消計画を策定した。その後、耕作放棄地再生利用推進事業により長田地区の1.6haを農地に復元した。

問 全国の農業従事者の現状は65才以上の高齢者が6割をしめている。当町も例外ではない。農業後継者不足の対応策は。

町長 普及センターや農協と一体

になり技術研修の強化、花嫁対策の充実等々を図る。新規就農者やUターン希望者の農業に対する関心を高め担い手の確保を図る。

問 経済危機により失業者が増加している昨今だが農業分野においては人材確保のチャンスである。何らかのアクションを起こせないか。

課長 認定農家や中核農家の息子、娘さん達を把握する。農業関係の高校・大学生達や親を含めて意見交換をし、何かを模索したい。

ガン撲滅で平和な家庭を

問 現在一年間に50万人以上が新たなガン患者になっている。このままでは3人に2人がガンになり、2人に1人がガンで死亡する。ガン対策が急がれる。各検診率の推移は。

町長 19年度の受診率は、胃ガン1.0%、子宮ガン3.7%、乳ガン4.8%、大腸ガン34.3%、肺ガン47.8%。例年横ばいである。

平成20年度から基本検診が特定健診に変わった。胃ガン40歳以上個別検診毎年受診、子宮ガン20歳以上、乳ガン40歳以上個別2年に1回、大腸ガン、肺ガン40歳以上集団毎年、前立腺ガン50歳以上個別2年に1回となっており検診への啓発を行っている。

問 働く女性の為に企業に協力を要請して、マンモグラフィ検診車を利用した乳ガン検診ができないか。

課長 国保と社保のちがいがあが会社等にも連絡して周知徹底したい。

問 ガン検診の地方交付税措置が前年度より倍増した。これらを受け

て休日受診や出張受診が出来ないか。

課長 委託先の健康づくり協会や個別受診先の病院へ打診したい。



農作業を終えてちょっとひといき

町長 新規就農者の確保を図りたい

地域要望制度廃止後の 対応は



東村 和往
議員

問 地区要望制度が廃止されて久しいが、現在どう対応しているか。

町長 地区要望の中身は、生活の利便性、快適性、安全性を図る観点から多種多様な要望があり財源が許す限り実現を図る努力をしてきたが、100%の達成には程遠く、毎年新規と前年の積み残しがあることから公民館連協の声を聞き入れる形で、平成16年度で廃止したが、住民の声や意見を伺うことは重要と考え、現在は個別に各担当課で受理している。

問 積み残しの分が、かなりあると思うが、どう対応していくのか。

町長 16年度以降対応出来たのは約60%で、残りについては緊急性、必要性、優先性、財源など総合的に検討し計画的、年次的に取り組んでいく。

問 積み残しの一つに三股駅・小鷲巣線の整備がある。これは小鷲巣地

区住民の長年の悲願であるが、今後どう対処する考えか。

町長 当路線の整備要望は、平成7年度より出されており、その重要性は十分に承知しているが、整備には鶴下橋の改修を含むと約6億円と試算しており、橋の拡幅で試算しても約3億3千万円を要する。町財政との絡みもあり、今後も事務事業評価幹事会への提案を行い検討する。

問 この路線は、小鷲巣地区住民の生活に欠かせない路線であり、橋を除いた部分だけでも早い時期に拡幅して頂くよう強く要望しておく。

住民の声を行政に反映させる手段として、各地で携帯電話を活用した取り組みが行われている。普及率の高さから重要な情報媒体と考えるが、本町の取り組みの現状は。

町長 現在、町のホームページにあ

る代表メールアドレスを使って意見を受ける事は出来るようになっており、少数だが携帯電話による住民サービスが活用されている。

問 携帯電話を使つての住民サービスには、住民が町の携帯サイトにアクセスし情報を取得する方法と、役場から、必要な情報を得るために登録した人の携帯電話にメールで配信するという方法の二つがある。今後取り組み考えはないか。

町長 電子メールを利用した町の情報発信については、段階的に取り組んでいきたい。本町の場合、先ずパソコンで登録された方へのメール配信を考えており、21年度から携帯電話向けのメール配信も出来るよう検討し、住民サービスの向上を図っていく。



道路の早期拡幅が望まれます

町長 総合的に検討し計画的に取り組む



英保育園

(はなほいくえん)

当園は、三股町と都城の境界に位置し、入園児の住所は広い範囲の地域に渡り、子供たちが季節の移り変わりを肌で感じる事が出来るすばらしい環境にあります。子供達は、クラスや年齢の枠を取り払った友達関係を築きあげることができるよう園の特徴である自由保育形態を行ない、園生活で心身ともにたくましく元気いっぱい明るく、仲良く遊べる子供を育てます。

その中で子供達は、季節を取り入れた遊び、体を思いっきり使った遊び、泥団子作りなどクラスや年齢の枠を越えた遊びをのびのびと展開しています。



一人一人の個性を大切に見守り、家庭的な温かさを保ちながらいろいろな年齢層の人とのかかわりを通して、人間性豊かな子供に成長していけるよう保育を日々実践しています。

人と人との出会いの場所として広がっていく輪を大切に様々な地域活動にも積極的に参加しています。

園長 岡崎 美津子 TEL.52-7380



編集後記

桜花爛漫月おぼろ。何とものどかな春景色に、暫したたずむ今日この頃。新年度の予算がスタートする。年々とぼしくなる財政を、何とかチェンジしたい。今回の定額給付金に期待が膨らむ。当町の給付額は3億9千万円。プレミアム付の商品券も発行される。賢く消費したいものです。

21年度予算の目玉は勝岡小学校校体育館建設。未来の青年たちが体育を通して、のびのび育ってほしい。また嬉しい事に、三股駅舎にコミュニティセンターが出来た。誰でも気軽に利用できる。隣の産業会館内に物産館もある。三股町内の新しいスポットになりそう。町の活性化を心から願いたい。

議会編成の関係で、広報編集常任委員4人での出発から早2年が経過。正しく、早く、読みやすくをモットーに試行錯誤の毎回でした。今号で現広報委員は終了となりますが、今後とも、議会だよりをご愛読頂きますようよろしくお願ひ申し上げます。

議会広報編集常任委員長 山中 則夫

副委員長 池田 克子

委員 大久保義直

委員 黒木 孝光